

健発0712第2号
平成30年7月12日

一般社団法人日本移植学会 理事長 殿

厚生労働省健康局長
(公印省略)

「腎疾患対策検討会報告書～腎疾患対策の更なる推進を目指して～」について

腎疾患は、糖尿病や高血圧等の生活習慣病や難病等を原因とし、患者数は約1,300万人に達しております。腎疾患は、重症化すると血液透析をはじめとする腎代替療法を要することになるのみならず、循環器系疾患のリスクも高いため、国民の健康や生活の質に重大な影響を及ぼしています。我が国では、「腎疾患対策のあり方について」（平成20年3月）に基づき対策を講じてきましたが、今後も高齢化が進む中で、腎疾患患者の増加が予想されることから、更なる腎疾患対策の推進を目指して、平成29年12月から「腎疾患対策検討会」を開催し、今後の対策等について検討を行い、報告書を取りまとめたところです。

これを受けて、別紙のとおり都道府県知事・政令指定都市市長・中核市市長宛てに通知いたしましたのでご連絡いたします。

貴職におかれましても、本報告書の内容について十分に御了知の上、貴管下の関係団体及び関係者に対して周知を図っていただきますよう、よろしく願いいたします。